

フォーリン・プレスセンター（2018年9月21日）

## 朝鮮半島情勢と日本

慶應義塾大学 西野純也

### 1. 第3回文在寅・金正恩会談と9月平壤共同宣言の評価

- ・韓国による米朝の仲裁、非核化プロセスの促進

→タイミングが重要だった

4月27日「板門店宣言」、6月12日「米朝共同声明」

7月6日、ポンペオ国務長官訪朝、翌7日、北朝鮮外務省報道官談話で米国を批判

8月23日、ポンペオ長官4回目訪朝予定発表、翌24日、トランプ大統領による中止決定

9月5日、韓国大統領特使団訪朝、首脳会談日程決定（9月18-20日）

- ・3つの議題を設定（南北関係改善・発展、軍事的緊張緩和、非核化措置具体化）

→焦点は、非核化に向けた具体的措置を引き出せるのか／板門店宣言の具体化

- ・非核化：東倉里のミサイルエンジン実験場・発射台の永久廃棄

米国の取る措置に応じて寧辺の核施設の永久廃棄の用意

→非核化リスト（核関連施設、核物質、核弾頭の保有量や所在）は提示せず

北朝鮮の非核化への「本気度」依然不透明

- ・文大統領によるトランプ大統領説得可能か（来週の米韓首脳会談）

韓国側「共同宣言以外にも多く内容話した」

今年中の朝鮮戦争「終戦宣言」を目指す／プロセス「促進者」としての文大統領

米国（特にトランプ大統領）は一応前向きな姿勢

- ・軍事的緊張緩和措置具体化では成果（国防責任者署名文書の採択）

- ・南北交流協力：条件整えば開城工団、金剛山観光を正常化／離散家族面会

- ・金正恩委員長のソウル訪問（国内および国際環境整うか）

## 2. 日本への影響と課題

### (1) 短期的課題

- ・ 非核化プロセスの促進（制裁の継続、非核化コスト分担、米韓との役割分担）
- ・ 防衛・抑止態勢の構築（日本独自および日米韓、日韓などとの協力）
- ・ 日朝の対話チャンネル構築／日韓関係のさらなる改善

### (2) 中期的課題

- ・ 北東アジア安全保障環境の変容への対応（終戦宣言→平和協定へのプロセス）
- ・ 朝鮮国連軍司令部（UNC）の役割終了可能性→UNC 後方基地役割終了
- ・ 韓国軍戦時作戦統制権の移管米韓連合防衛体制の変化
  - 米韓連合防衛体制の変化／米韓連合軍司令部（CFC）の発展的解消か
  - 在韓米軍、在日米軍のプレゼンスの調整
- ・ 北朝鮮への「新たな関与政策」の本格化
  - 新しい秩序の責任あるメンバーに迎えるための取り組み
  - 日朝国交正常化交渉の再開＝日朝平壤宣言プロセスの再開

### (3) 長期的課題

- ・ 朝鮮半島の「平和体制」への貢献
- ・ 日朝国交正常化／対北朝鮮経済協力の実施